

君へ

ラジオネーム：ブラックコーヒー

こんにちは。そちらではいかがお過ごしですか？
今年は雪が少ないから、雪かきをしなくても良くて
楽だなあと思う反面、何処か寂しいね。

僕らが出会ったのも、君と別れたのも冬だったからかな。

最近、『終活』という言葉を意識するようになり、

いつかは我が身…と、まずは押し入れの中の物を

整理しようと思い、段ボールやらを出していた時。

全部出さないとわからない所に、見覚えのない

綺麗な箱を見つけてね。

開けてみたら、表紙がボロボロのノートが沢山入っていて。

君はずっと、日記を書いていたんだね。

中を読めば、僕とお付き合いを始めた頃からこれまでに

あったことが、ページいっぱいに綴られていた。

付き合い始めた時によく行った喫茶店でどんな話を

したかとか、何を注文したかまで書かれていたから驚いた。

君と別れてもう5年経つけど、今日まで気づかなかった。

君は僕との、ほんの些細な出来事も覚えていたから、記憶力が他の人に比べて、ずば抜けていいんだとなんとかそう思っていた。

自分との思い出をこんなに大事にしてくれていたと実感して、涙が止まらなかったよ。

結婚式の前日の日記、最後の一文に書いてあった

「この人と未永く共に歩んでいきたい」。

そっちに行った時も、その願いを叶えてあげたい。

駄目かな。まあ、今は勝手に言わせてくれ。

それまでは持病と闘いながら、どのくらい残っているかわからないこの人生を謳歌しようと思うよ。

では、また。

リクエスト曲

　　∧　　君は薔薇より美しい　　／　　布施明　　∨

※長男が生まれた時によく耳にしていた曲。